

本科 2 期 12 月度

解答

Z 会東大進学教室

高 1 選抜東大英語

高 1 東大英語



24 章 仮定法4

要点

■ 確認問題

解答

- (1) Had it not been for your help, I wouldn't have been able to go to the hotel.
「もしあなたの助けがなければ、私はそのホテルに辿り着くことができなかっただろうに。」
- (2) Were it not for her bad financial situation, she would have no worries.
「ひどい財政状況がなければ、彼女には何の心配事もないだろう。」

問題

【1】

解答・解説

- (1) Had it not been for the money 「もしそのお金がなかったら、我々は成功しなかっただろう。」〔仮定法過去完了。if it had not been for ～「もし～がなかったら」の if が省略されて、had (助動詞) が文頭に出た形。〕
- (2) had they happened to be within the reach of 「「たまたま～にあったとすれば」という部分を条件節にする。文意から仮定法過去完了にする。if が省略されて、had (助動詞) が文頭に出た形。〕
- happen to do 「偶然…する」
 - within the reach of ～「～の届く範囲内に」⇔ beyond the reach of ～

【2】

解答・解説

- (1) (b) Had ; could have told (もしそのことを知っていたら、あなたに教えることができただろう。)〔仮定法過去完了 — 条件節を導く if の省略 (S V (助動詞) が倒置)。〕
- (2) (a) for (b) without (空気と水がなければ、どんな生物も存在することはできないだろう。)〔仮定法過去 — without の句が仮定の条件を表す。〕
- without ～ = if it were not [had not been] for ～
- (3) (b) If it had not been (資金がなかったら、その会社は倒産していたかもしれない。)〔仮定法過去完了 — but for の句が仮定の条件を表す。〕
- but for ～ = if it were not [had not been] for ～
- (4) (b) Were (あなたの立場なら、私は別の行動をとるだろう。)〔仮定法過去 — 条件節を導く if の省略 (S V (助動詞) が倒置)、in your place が仮定の条件を表す。〕
- (5) (a) With (b) had been (もう少し注意していたら、危険を避けることができただろう。)〔仮定法過去完了 — with の句が条件を表す。〕
- (6) (b) were [was] not busy (今日は忙しい。そうでなければ、必ずあなたのパーティーに行くだろう。)〔仮定法過去 — otherwise が仮定の条件を表す。〕
- (7) (b) were [was] seen (離れて見れば、彼は西欧人として通用するかもしれない。)〔仮定法過去 — 分詞構文が仮定の条件を表す。〕
- at a distance 「やや離れた所で」
 - pass for ～ 「～として通用する」
- (8) (b) was not ((その時) 健康だったらよかったのに。)
- wish + 仮定法過去完了 [過去の事実に反する願望を表す。]
- (9) (a) for ; to (b) went (幼児はもう寝る時間だ。)
- it is time + 仮定法過去

【3】

解答・解説

- (1) 雨がたくさん降らなければ、日本は最も住みよい国の1つになるのだが。
- Were it not for ~ ≡ If it were not for ~
 - rain → uncountable である点に注意。
 - to live in → 形容詞用法で the most comfortable countries を修飾。
- (2) 広告から得られる莫大な収入がなければ、新聞はそう安く売ることはいできない。会社の中には、その製品を日刊新聞に広告するために、毎年数千ポンドを投じているものもある。
- 本問は、if it were not for the immense income derived from advertising の倒置形 were it not for the immense income derived from advertising が、主節 Newspapers could not be sold so cheaply の後ろに置かれたもの。
 - immense [通例よい意味で]「莫大な」
 - derive A from B「BからAを得る」
 - advertise「広告する」
 - firm「会社」

【4】

A.

解答例

- (1) He was born in the 16th century.
- (2) ① He found [discovered] the mountains on the moon.
② He found out that the moon had mountains.
- (3) It is a luminous band in the sky made up of a vast number of faint stars.
- (4) Because the man thought Galileo bewitched it, he wouldn't look through the telescope.
- (5) There were forty years between them.
- (6) The Church called him to Rome and put him on trial.
- (7) No, he didn't. He said that he was wrong to the court just because he wanted to survive. He never doubted his belief in Copernican theory [Copernican theory was correct].
- (8) It is said that he whispered to himself in Italian "Eppur si muove," which means "And yet it does move."
- (9) ① Yes, he was. He was brave enough to publish a book supporting Copernican theory, knowing that it was against the Church's teaching.
② No, he wasn't. When the Church pressured him, he could not resist.
- (10) ① Yes he was. He was sensible to accept the Church's order in order to avoid being killed.
② No, he was not. If he had kept silent about his belief in Copernican theory, he would not have been involved in any trouble.

解説

- (1) century「世紀」には the がつく。
- (2) 本文ℓ. 16～18 参照。
- (3) 本文ℓ. 18～20 を参照して天の川は「輝く帯状のもの」で、「小さな星でできている」という2点を説明する文を考える。
- (4) 本文ℓ. 21～23 参照。
- (5) コペルニクスが正しいと確信した年は本文ℓ. 9～11, その理論を支持する本を出した年はℓ. 25～26 を参照。
- (6) 本文ℓ. 26 参照。設問に合った答えにするために, the Church を主語にする。
- (7) 設問は「ガリレオは裁判で言ったことを本気にしていたのか?」。詳しく書くなら, 本文ℓ. 31～38 に色々とした細かな描写があるが, 要するに死刑を避けるために教会の言う通りにしただけで, 考えが変わったわけではないという点が押さえられていけばよいだろう。survive は「生き残る」。
- (8) 本文ℓ. 35～36 参照。設問で after the confession とすでに言っているのに, 解答には as soon as he had confessed … の部分は不要だろう。
- (9) 本文を読んだ上で自分の考えで答えればよいだろう。Yes の解答例を詳しく書くと「教会の教えに反すると分かっているながら, コペルニクスの理論を支持する本を出すほど勇気があった」。No の解答例を詳しく書くと「教会が圧力をかけたとき, 彼は抵抗できなかった」。
- (10) Yes の解答例を詳しく書くと「死刑を避けるため, 教会の命令を受け入れる賢明さがあった」。No の解答例を詳しく書くと「コペルニクス理論を信じていることについて沈黙を守っていれば, なんのトラブルにも巻き込まれなかったはずである」。

B.

解答

- (1) (c) (2) (d) (3) (d) (4) (b) (5) (c)
- (6) (c) (7) (a) (8) (c) (9) (d) (10) (a)

解説

- (1) fascinated は他動詞 fascinate ～「～を魅了する」が形容詞化した語。選択肢の他の語も同じ。意味が近いのは, (c) interested < interest「関心がある < 関心を持たせる」, excited < excite「興奮した < 興奮させる」。(a) terrified < terrify「おびえた < 怖がらせる」, worried < worry「心配そうな < 心配した」, (b) entertained < entertain「楽しんで < 楽しませる」 surprised < surprise「驚いた < 驚かす」, (d) accustomed < accustom「慣れた < 慣れさせる」, bored < bore「うんざりした < うんざりさせる」。
- (2) 実験科学の説明としては, (d)「観察と実際の作業から自然を探究する」が適切。(a)「理論と論理に基づいた科学」, (b)「道具や機械を発明すること」, (c)「文献を読んで学習された科学」。
- (3) support「支持する」に近いのは, (d) speak for ～「～のために賛成の意見を述べる」。(a) speak out「遠慮なく言う, はっきり話す」, (c) speak against「～に反対の意見を言う, ～を攻撃する」。

- (4) discovery「発見」に近いのは、(b)「新たな知見」。(a)「発明」、(c)「機械」、(d)「新しい手法」。
- (5) opposition は「抵抗、反対、反対勢力」なので、(c) people against him「彼に反対する人々」が正解。(b)は「味方」。賛成、反対は with, against で表せる。(a)は「彼を取り囲む人々」。
- (6) accuse somebody of …ing「(人)を…したことで非難する」。よって意味に近いのは(c)「彼がなにか誤ったことをしたと言った」。(a)「彼を称賛した」、(b)「皆に彼のことを話した」、(d)「彼をからかった〔< make fun of ~「~をからかう」〕」。
- (7) warn「警告する」。正解は(a)「用心するように言った」。(b)「罰した」、(c)「注目するように言った」、(d)「敬服した」。pay attention to ~ は「~に目を向ける、気を配る」といった意味合い。
- (8) put someone on trial「(人)を裁判にかける」。正解は(c)「裁判に出された」。(a)「医者者に検査された」、(b)「テストを受けた」、(d)「~で実験された」。
- (9) merciful「慈悲深い」⇒(d)「哀れみを示している」。(a)「残酷な」は反対語。(b)「ユーモアのセンスがある」、(c)「賢明に行動する」。
- (10)「拷問、責め苦」に近いのは、(a)「言わせたいことを言うまで苦しめること」。(b)「裁判によって殺人されること」、(c)「裁判によって殺されること」、(d)「発言したことのせいで火あぶりの刑で罰せられること」。

C.

解答

- (1) (b) (2) (a) (3) (b) (4) (d) (5) (a)

解説

- (1) 本文ℓ. 1 参照。ピサ大学の数学教授になった年から生まれた年を引く。本文ℓ. 1 の by 1589 は「この年までのいつか」ではなく、その年そのものを指している。
- (2) 本文ℓ. 12～13 に、初めは黙っていたとの記述がある。(b)はコペルニクスが地球が宇宙の中心だと言ったという点が本文と矛盾。(c) 本文ℓ. 5～6 参照。コペルニクスがガリレオの本を読んだとの記述は本文にない。(d) 本文ℓ. 3～4, 本文ℓ. 9～11 など参照。教会は天動説、ガリレオは地動説をそれぞれ支持していた。
- (3) (b) 本文ℓ. 27～28 と一致する。(a)は put to death が本文と矛盾。(c) the Pope protected him が本文と矛盾。(d) the Church was merciful が本文ℓ. 30 と正反対。
- (4) (d)「自分が正しいと信じていることを主張していたら、殺されていただろうが、もう信じていないふりをした」。最後のパラグラフを参照。(a)は but 以下が本文と矛盾。(b)は say that the earth moves round the sun を say that the sun moves round the earth にすれば正しくなる。(c) 教会側が裁くのだから教会に賛成したら死刑になるというのはおかしい。
- (5) やはり最後のパラグラフを参照。一致するのは(a)。(b) ガリレオは地動説支持の本を出しているのだから、but did not tell anybody は間違い。(c) but 以下が間違い。(d) because 以下が本文最後の文と矛盾。

D.

解答

「全訳」下線部参照。

全訳

ガリレオは1564年に生まれた。彼は優れた数学者で1589年にはピサ大学の数学教授となり実験科学に魅了されていた。

当時、教会は、宇宙の中心は地球であり、その回りを太陽、惑星、月が回っていると教えており、ほとんど皆これを信じていた。ガリレオの生前、ポーランド人の天文学者コペルニクスは、地球と惑星が太陽の回りをまわっているという理論を打ち出す本を出版していた。教会はこれを糾弾し、1600年にコペルニクスに賛成であると述べたジョルダーノ・ブルーノという男を火あぶりの刑にした。

1592年、ガリレオはパドバ大学に移った。この頃には、彼は天文学に非常な関心を寄せるようになっていて、胸のうちでは、地球が太陽の回りをまわっているというコペルニクスが正しいと確信していた。これは公式な教会の見解ではなく、コペルニクスを支持するのは危険であった。当初は、ガリレオにも沈黙を守るだけの分別があった。ガリレオはオランダ人リッペルセイによる望遠鏡の発明を耳にして自分でも1つ製作した。1609年から1610年にかけて、彼は次々と重要な発見をしたが、これは天文学史の方向性を変え、ガリレオ自身には多大な不幸を招いたのだった。当時の望遠鏡は現代の基準からすれば、小型なものに過ぎなかったが、それでもガリレオは月面の山々、金星の見え方の変化、太陽黒点、木星の4つの衛星を発見した。また、空にかかる光り輝く帯、天の川が無数の小さな星でできていることを突き止めた。

ガリレオはこうした発見の数々について記述した本を執筆した。すぐさま彼は抵抗にあった。ある男は、ガリレオは望遠鏡に魔法をかけたと非難し、覗きみることを断固として拒否した。しかし、本当に問題なのは、ガリレオのその著作が、コペルニクス理論に対する彼の確信を追認していたことだった。ガリレオは教会の指導者たちから警告を受けたが、長年にわたってだいたいは放っておかれていた。その後1632年に彼が完全にコペルニクスを支持する態度を表明する著作を出版すると、教会は動き出した。翌年、ガリレオはローマに呼び出され裁判にかけられた。

彼は長年知っているローマ教皇が友好的であることを望んでいたが、当ては外れた。教会は警戒心を募らせていた。地球を宇宙の中心から外せば、その教えの核心を突くことになる。教会は普通情け深くなく、多くの人々がその命令で火あぶりの刑に処されていた。ガリレオは拷問で脅され、引き下がって地球が太陽の回りをまわっているという考えをのろい、憎むように命じられ、服従するほかなかった。主張を通せば、死刑にされるのは確実だった。彼は70歳ですっかり衰え、抵抗するどころではなかったのである。

告発者らの前で自分が間違っていると認めてからすぐ、彼はイタリア語で'Eppur si muove'（「それでも地球は回っている。」）と自らにつぶやいたと伝えられている。この逸話は本当ではないかもしれないが、彼はコペルニクス理論が正しいことを一瞬たりとも疑わなかった。

- ℓ. 3 ○ the Church 「ローマ・カトリック教会」
- ℓ. 5 ○ Copernicus 「コペルニクス」
- ℓ. 6 ○ condemn 「非難する, 有罪の判決を下す」
cf. Condemn the offense, but pity the offender. (罪を憎んで人を憎まず。)
- ℓ. 7 ○ Giordano Bruno 「ジョルダノー・ブルーノ (哲学者)」
- ℓ. 10 ○ in *one's* mind 「～の胸中では」
- ℓ. 13 ○ hear of ～ 「～の噂を聞く」
○ Lippershey 「リップルセイ (メガネ職人)」
○ made himself one 「自分でもひとつ作った」
cf. make oneself some coffee (自分でコーヒーを入れる)
- ℓ. 14 ○ a series of 「連続した, 一連の」
- ℓ. 16 ○ misfortune 「災難, 不運」
○ by + 形容詞 + standards 「…の基準では」
- ℓ. 18 ○ spot on the sun = sunspot 「太陽黒点」
- ℓ. 19 ○ the Milky Way 「天の川, 銀河」
○ luminous 「輝く, 明るい」 cf. luminous animal (発光動物)
○ a vast number of 「多数の, おびただしい」 (= a great number of, a tremendous number of)
- ℓ. 21 ○ meet with ～ 「～を経験する」 [目的語の例としては, opposition のほか, refusal (拒否), anger (怒り) など。]
- ℓ. 22 ○ bewitch ～ 「～に魔法をかける」
- ℓ. 24 ○ leave ～ alone 「～をそっとしておく, ～に手を出さない」
○ more or less 「おおよそ, 多少」
- ℓ. 25 ○ come out in support for [of] ～ 「～に対する支持を表明する」
- ℓ. 28 ○ alarmed 「不安を感じて」
cf. alarming ((警戒感・不安などを) 抱かせる, 憂慮すべき)
- ℓ. 29 ○ strike at the heart of ～ 「～の核心を突く」
- ℓ. 31 ○ curse 「悪口を言う, 呪う」
- ℓ. 32 ○ have no choice but to *do* 「…するしかない」 [but ～ 「～を除いて」]
○ Had he argued = If he had argued [if が省略されて倒置になっている。仮定法過去完了の文。]
- ℓ. 35 ○ confess that ～ 「～であると認める, 告白する」
- ℓ. 37 ○ doubt that ～ 「～ではなさそうだと思う, 疑惑を抱く」
cf. suspect that ～ (～ではないかと疑う, ～したと疑う)

添削課題

解答

- (1) Had he come five minutes earlier, she could have met him.
- (2) Should it rain, I'll take you home by car.
- (3) I stayed in lest I should catch cold.
- (4) I'd better leave now.
- (5) I would [had] rather watch TV than play cards.
- (6) Were you in my position, what would you do?

25 章 接読詞

要点

■ 確認問題 1

解答

- (1) よく眠りなさい, そうすれば回復するでしょう。
- (2) 彼はあなたのためにそれをしたのではなく, 自分のためにやった。

■ 確認問題 2

解答

- (1) 雨が降るといけないので, 急ぎなさい。
- (2) 彼女は再度遅れないように, タクシーに乗った。

■ 確認問題 3

解答

- (1) 彼女が家を出るや否やドアベルが鳴った。
- (2) その試験が終わったらすぐに実家に帰るつもりです。

■ 確認問題 4

解答

今や子供たちも成長したので, 私たちはどこにでも行けることを私は望んでいる。

■ 確認問題 5

解答

a hard worker

■ 確認問題 6

解答

- (1) 終電に乗り遅れたらどうなるでしょう。
- (2) 日暮れ前に戻ってくるという条件でなら外出してもいいですよ。

■ 確認問題 7

解答

- (1) 彼はたくさん飲んだけれども, もう 1 杯ワインを注文した。
- (2) どんなに小さくとも自分の家を持ちたい。

■ 確認問題 8

解答

- (1) 彼女はその犬がかみつくのではないかと恐れた。
- (2) 私たちは、彼は友達ではないが、彼女は友達であると結論づけた。

問題

【1】

解答・解説

- (1) **エ**「私は仕事を終わるとすぐに、急いで彼女に会いに行った。」
○ hardly [scarcely] …when [before] ～「…するかしないうちに～」 [= *Hardly* [scarcely] had I finished my work *when* [before] I rushed out to see her.] [= *No sooner* had I finished my work *than* I rushed out to see her.]
- (2) **ア**「まもなく春が来るだろう。」
○ it will not be long before ～「間もなく～するだろう←～する前に長くはないだろう」
- (3) **ア**「我々は成長するにつれて必ずしも賢くなるとは限らない。」
○ as ～「～するにつれて」[「比例」を表す接続詞]
○ not necessarily …「必ずしも…ない」[部分否定]
- (4) **ウ**「いったん基本的なルールを身に付けたら、そのゲームは簡単だ。」
○ once ～「一度～すれば」[「条件」を表す接続詞]
- (5) **ウ**「アルバートはその手紙を、彼らに見つからないようにカーペットの下に隠した。」
○ so that ～「～のために」[「目的」を表す。] [= *in order that* they wouldn't find it ; lest they should find it]
- (6) **エ**「それはとても狭い道だったので、すれ違うのが困難だった。」 [*such* a narrow road *that* ～ = *so* narrow a road *that* ～] [so を使う場合は、'so + 形容詞 + a (an) + 名詞' の語順になる。]
- (7) **ア**「ジョンは、頭は悪いかもしれないが、心は優しい。」
○ 形容詞 [副詞] as S + V 「Sは…であるが」
- (8) **エ**「天候がよくても悪くても、彼は毎週日曜日に魚釣りに行く。」
○ whether or not ～「～であろうとなかろうと」
- (9) **ウ**「ペットの世話ができなければ、ペットを飼っていけない。」
○ unless ～「～でない限り、～の場合を除いては」
- (10) **ア**「彼が戻って来るまで、その手紙をそのままにしておきなさい。」
○ as they are 「それらが今ある状態に」 [as は「様態」を表す。]

【2】

解答・解説

- (1) In Europe and America, (they greatly respect not only liberty but also discipline) in their school life.
○ not only ～ but (also) …「～ばかりでなく…もまた」[「…」を強調]
○ discipline 「規律, 統制」
- (2) Turn to the left at the third corner, (and you'll come to the west end of the park).
○ 肯定文, and ～「…しなさい, そうすれば～」
- (3) The value of life lies (not in the length of days but in the use we make of them).

- not ~, but ... 「～ではなく…」
- the use we make of them [← we make use of them cf. make use of ~ (～を利用する)]
- (4) It is (true that he is young, but he is clever for his age).
 - it is true (that) ~ but ... 「なるほど～だが, (しかし) …」
 - for *one's* age 「～の年齢の割には」

【3】

解答

- (1) **イ** 「私が知る限り, その本はまだ日本語に翻訳されていない。」
 - as far as ~ 「～の限りでは」 [「制限・範囲」を表す。]
 - translate ~ into ... 「～を…に翻訳する」
- (2) **ウ** 「たとえ多大な努力をしても, 君はそれを達成できないだろう。」
 - even if ~ 「たとえ～でも」 [「譲歩」を表す。]
- (3) **ア** 「人々は, 金持ちか貧乏かによって, ものの見方が異なる。」
 - according as ~ (節) 「～に従って, ～に応じて」
- (4) **キ** 「静かにしている限り, ここにいたければいい。」 [「条件」を表す接続詞 as long as]
 - if you like 「そうしたければ」
- (5) **ク** 「彼は, 家族が快適に暮らせるように昼夜働いた。」
 - so that ~ can ... 「～が…できるように」
- (6) **オ** 「万一雨が降った場合は, 私を待たないで下さい。」
 - in case ~ 「～の場合は; ~だといけないので」
 - expect 「(人・事・物) が来るのを待つ, やって来ると思っている」
- (7) **カ** 「もう仕事を終えたのだから, どうぞ家に帰って下さい。」
 - now that ~ 「もう～だから, ~である以上は」
- (8) **工** 「彼は来るたびに何か面白いものを私に持ってくる。」
 - every time ~ 「～するたびに」
- (9) **ケ** (または**オ**) 「彼は最終列車に乗り遅れないように早く出発した。」
 - lest ~ should ... 「～が…しないように, ～が…するといけないから」

【4】

解答

私は最近, 何年も会っていなかった人に偶然出会い, この古くからの知人を食事に家に招いた。夕食が終わると, 彼女が妙に無口であるように思えたので, どうかしたのかと尋ねた。

注

- run into ~ 「～に(偶然) 出会う」
- in years 「長年」
- invite ~ over for ... 「～を…に招待する」

- strangely 「妙に」
- ～, so that … 「～ので, …」[「結果」を表す接続詞]

【5】

解答

- (1) 強調構文 (it is ～ that …) の that
- (2) 「全訳」参照。

全訳

確かに、老人の感覚は鈍っていて、若者や中年の人々に比べると彼らの反応は遅い。しかし、このすべては死に近づいているという感覚によって十分に償われている。老人に生きることの重要性を痛感させるのは、まさにこの死に近づいているという感覚なのである。

注

- It is true that ～. But … 「確かに～だが, …」
- in comparison with ～ 「～と比較して」 [= compared with ～]
- it is ～ that … 「…は～である」[強調構文]
- bring home A to B 「AをBに痛感させる」[ここではAがBの後にある]

【6】

解答

「全訳」下線部(1), (2)参照。

全訳

生物の集団は、利用できる生活空間を共有する多くの方法を発展させてきた。(1)個々の種が食料源や住みかを巡って激しい競争をしない限りは、多くの種は一本の木や一面の海岸線に仲良く共生することができる。

多様な生物間の食性的関係が相互につながっていること―捕食動物と多くのその餌食、ある生物とそれを食べようとしているすべての生物―は、食物網と呼ばれる。相互作用が複雑であることは、ある種に影響を与えるものがどこか他のところで思いがけない結果をもたらすことがあるということである。(2)たとえば、ある餌食の種(の数)を制限している捕食動物が間接的に別の生物種の利益になることもある。時には、相互関係がとても密接なので、動物の消化器官で生きる細菌のように、2つの生物が実質的には1つになることもある。細菌も宿主も、相手がいなければ繁栄することはないであろう。

注

- ℓ. 1 ○ community 「(動物の) 群集, (植物の) 群落」
- organism 「生物」
- evolve ～ 「～を発展させる」
- ℓ. 2 ○ available 「利用できる」
- as long as … 「…する限りは」
- species 「生物種」…単複同形の名詞。ここでは複数形。cf. a species (1つの生物種)
- ℓ. 3 ○ dozens of ～ 「数十の～, 多くの～」

- harmoniously 「仲良く」
- or がつかないでいるのは one tree と one stretch of shoreline.
- ℓ. 5 ○ interconnection 「相互接続」
- feeding relationship 「食性的関係」
- multiple 「多様な」
- ℓ. 6 ○ prey 「餌食」
- all those (organisms that are) trying to eat it 「それを食べようとしているすべての生物」
- ℓ. 7 ○ complexity 「複雑さ」
- interaction 「相互作用」
- unanticipated 「思いがけない」
- ℓ. 9 ○ intimate 「密接な」
- ℓ. 10 ○ effectively 「実質的には」
- bacteria 「細菌」 複数形。単数形は bacterium だがまれ。
- digestive system 「消化器官」
- neither A nor B 「A も B も～ない」

【7】

解答

A.

- (1) 3 歳 (2) 「のろまで怠け者」だと思われていた。
- (3) 物理学 (4) 1905 年

B.

- (1) A man who was initially (suspected) (of) being mentally retarded is considered to be a genius today.
- (2) (Unlike) other kids, who would give the answer that first comes to (their) (mind), Einstein would tackle every aspect of the question and give an opinionated answer.
- (3) Many of his theories were (based) (on) “relativity”, which (affected) the world today.
- (4) All were (important), but among them, there was one that literally changed the (face) of physics.

Script

CD 14

A man who was initially suspected of being mentally retarded is considered to be a genius today. The man is Albert Einstein, who was unable to speak until he was three years old. He may be the foremost revolutionary thinker of our time.

As a young man, Einstein was dismissed by his teachers as “slow and lazy”; however, that was not the case. Unlike other kids, who would give the answer that first comes to their mind, Einstein would tackle every aspect of the question and give an opinionated answer.

Because Einstein's thinking was so unorthodox, he was able to theorize many ideas that advanced physics in a revolutionary way. Many of his theories were based on "relativity", which affected the world today.

Only a few years in the history of science stand out so much that they are referred to as "miracle" years. The year 1905 was such a year. In 1905 Einstein published five monumental papers. All were important, but among them, there was one that literally changed the face of physics. This paper, which discussed the theory about what is now commonly known as "special relativity," was the beginning of something very special.

全訳

最初は精神発達の遅れを疑われていた男が、今日では天才と考えられている。その男とはアルバート・アインシュタインである。アインシュタインは、3歳まで言葉を話すことができなかった。彼は、現代で最も偉大な革命的思想家かもしれない。

若い頃、アインシュタインは「のろまで怠け者」だとして教師に見放されていた。しかし、それは誤っていた。アインシュタインは、他の子どもたちのように最初に頭に浮かんだ答えを言うのではなく、質問をあらゆる角度から考えて独自の答えを主張したのである。

アインシュタインの思考はとても変わっていたので、物理学を革命的に前進させる多くの考えを理論化できた。彼の理論の多くは「相対性」に基づいており、それは今日の世界に影響を与えた。

科学の歴史の中で大きな発展があった年はわずか数年だが、それらの年は「奇跡の」年と呼ばれている。1905年はそのような年の一つであった。1905年にアインシュタインは、5つの記念碑的な論文を発表したのである。どれも重要だったが、その中には、文字通り物理学の様相を変えた論文があった。この論文は、現在「特殊相対性理論」として知られている理論を論じたもので、極めて特別なものの始まりであった。

注

- initially 「初め (に)」
- suspect ~ of ... 「～は…ではないかと疑う」
e.g. Jack suspected his wife of telling a lie.
(ジャックは妻がうそをついているのではないかと疑った。)
- mentally retarded 「精神発達が遅れた」※ mentally < mental *adj.* 「精神の」
- consider A (to be) B 「AをBであると考え」ここでは受け身で使われている。
- genius 「天才」
- Einstein 「アインシュタイン」
- revolutionary 「革命的な」< revolution *n.* 「革命」
- dismiss A as B 「AをBだとして片づける、見捨てる」
- lazy 「怠惰な、怠けた」
- unlike ~ 「～とは違って」
- come to *one's* mind 「～の頭に浮かぶ、思いつく」
- aspect 「(側) 面」
- theorize 「～を理論化する」< theory *n.* 「理論」

- advance ～「～を前進させる, ～を向上させる」
- physics 「物理学」
- be based on ～「～に基づいている, ～を土台としている」
- relativity 「相対性」 < relative *adj.* 「相対的な」 ⇔ absolute 「絶対的な」
- stand out so much that ～「とても目立っているので～」 so ～ that …の構文に注意。stand out は「目立つ, 突き出ている」という意味。
- miracle 「奇跡, 奇跡的な」
- paper 「(研究・学術) 論文」
- literally 「文字通り, まさしく」 < literal *adj.*
- face 「様相, 形勢, 外観」
- special relativity 「特殊相対性理論」 special theory of relativity とも言う。

添削課題

解答

- (1) She turned away so that I shouldn't see she was weeping.
- (2) Take this medicine in case you get sick.
- (3) It was such a wide road that it was easy for us to pass each other.
- (4) Now that you have finished your task, you can go and play outside.
- (5) You'd better get some rest at once or you'll collapse.

26 章 否定

要点

■ 確認問題 1

解答

- (1) 彼女はいつものようには私に話し掛けなかった。
- (2) いつものように彼女は私に話し掛けなかった。

■ 確認問題 2

解答

It was so cold this afternoon that hardly anybody went swimming.

■ 確認問題 3

解答

- (1) 輝くものがすべて金とは限らない。
- (2) 彼は彼女の両親のどちらも知らない。

■ 確認問題 4

解答

- (1) あなたのことを愛していないとは言っていない。
- (2) その歌を聴くと必ず姉のことを思う。

■ 確認問題 5

解答

- (1) 彼は笑いをこらえられなかった。
- (2) 家を買うのに注意しすぎることはない。

■ 確認問題 6

解答

- (1) マイクは今日仕事がない。
- (2) 彼は嘘をつくようなことはしない。

■ 確認問題 7

解答

- (1) それはジョークにすぎない。
- (2) 彼は決して愚かな人間ではない。

問題

【1】

解答・解説

- (1) no「私はほとんどお金を持っていない。」[almost は副詞なので形容詞 no の前にくる。]
- (2) Never [Little] did「彼は自分の息子がそのような乱暴な振る舞いをするなんて夢にも思わなかった。」[否定語 never [little] が文頭に出て、S V (助動詞) が倒置されている。]
- (3) never, without「彼女は外出するといつも、コーヒーショップに立ち寄る。」←「彼女はコーヒーショップに立ち寄ることなしには外出しない。」
- never [not] ~ without ...ing「...しないでは~しない、~すると必ず...する」
 - drop in at ~「~ (=場所) に立ち寄る」 cf. drop in on ~ (=人)
- (4) too「冬山に登る時はいくら注意してもしすぎることはない。」
- cannot ... enough「いくら...しても足りない」
 - cannot ~ too ...「いくら~しても...すぎることはない」
- (5) failed「私はその問題を解こうとしたが無駄だった。」→「私はその問題を解こうとしたができなかった。」
- in vain「無駄に、無益に」
 - fail to do「...できない」[否定語を用いない否定表現]
- (6) fails「彼はいつも月に1度は母に手紙を書く。」
- never fail to do「決して...し損ねない → 必ず...する」[二重否定]
- (7) free「彼女の文章にはまったく文法の誤りがなかった。」
- free from ~「~がない」[否定語を用いない否定表現]
- (8) beyond「高い所にあるそのフルーツに私は手が届かなかった。」
- beyond ~「~を超えて」[否定語を用いない否定表現]
- (9) anything「彼の両手は全然きれいではなかった。」
- far from ~「決して~ではない、~どころではない」[否定語を用いない否定表現]
 - anything but ~「決して~ではない」
- (10) last「私の友人のナツコは私を裏切るような人ではない。」
- the last person to do「...する最後の人 → 決して...しない人」[否定語を用いない否定表現]
 - betray ~「~を裏切る」

【2】

解答

- (4), (6)

解説

- (1) 「我々には霧以外何も見えなかった。」
- not anything but ~「~だけ」 (= nothing but ~ = only ~)

- (2) 「彼女は言葉では表せないほど美しい。」
 ○ beyond ～ 「～を超えて」〔否定語を用いない否定表現〕
- (3) 「もし学びたいのであれば、(プライドが高くて) 質問できないということがあってはならない。」
 ○ above …ing 「決して…しない〔できない〕, …するのを恥とする」
 ○ too ～ to do 「非常に～なので…できない」
- (4)** 「私には読む本がない。」〔to read は book を修飾する形容詞用法の不定詞〕
 「私はどんな本も読む必要がない。」
 ○ don't have to do 「…する必要がない」
- (5) 「私は弟とけんかをするよりもっと分別がある → 私は弟とけんかをするほど愚かではない。」
 ○ know better than to do 「…するよりもっと分別がある → …するほど愚かではない」
 ○ not so foolish as to do 「…するほど愚かではない」
- (6)** 「メアリーもスーザンもそのパーティーにはいなかった。」
 ○ neither A nor B ～ 「AもBも～ない」
 「メアリーはそのパーティーにいたが、スーザンはいなかった。」

【3】

解答・解説

- (1) “Do you mind my opening〔if I open〕the window?” “No, not at all.”〔Do you mind …? (…してもいいですか) に対して, 「よい」と答える場合には No を, 「いけない」と答える場合には Yes を用いる。〕
 ○ mind *one's* …ing〔if *one* …〕「～が…するのを嫌がる〔気にする〕」
 ○ not at all 「まったく…ない」
- (2) I have no idea what it is like.
 ○ have no idea 「まったくわからない」
 ○ what ～ is like 「～がどのようなものか」
- (3) We were so busy that we hardly had time to eat (meals).
 ○ so ～ that … 「非常に～なので…」
 ○ hardly have time to do 「…する時間がほとんどない」

【4】

解答

例外はあるが、たいていの英国人は、見知らぬ人と個人の生活を論じ合うことはない。確かに、彼らの多くは親しい友達とでさえも、個人的な問題を論じ合うことはないのだ。しかしこのことのいずれも、英国人が冷たく優しくないということでは決してない。それどころか、英国人は親しみやすく、よく助けてくれる。

注

- exception 「例外」
- none of ～ 「～のどれも…ない」
- mean that ～ 「～ということを意味する」
- far from ～ 「～どころか」〔文頭で〕

【5】

解答

4 月は季節の変わり目を実にはっきりと示す。もちろん、4 月はロンドンでは理想的な月では決してないが、ロンドンは4 月には霧も霞もなく、代わりに輝かしい太陽の光がかすかに現れ、短いが激しいひょうや雨と交互に入れ替わる。また、夕暮れ時に雨が降りやすくなる。

注

- it = April
- far from ～ 「決して～でない、～にはほど遠い」
- ideal 「理想的な、申し分のない」
- metropolis 「(最も) 主要な都市」
- free from ～ 「～がない」
- fog 「霧、濃霧」
- mist 「霧、かすみ」
- in exchange 「代わりに」
- glimpses of ～ 「～がかすかに現れること」
cf. a glimpse of ～ (～がちらりと見えること、一目)
- alternate with ～ 「～と交代する、～と入れ替わる」
- hail 「あられ、ひょう」

【6】

解答・解説

本文は「種の起源」の著者で、イギリスの博物学者の Charles Darwin (1809-82) と、彼の妻となる Emma Wedgwood (1808-96) の伝記の一節である。Wedgwood は有名な陶磁器メーカーとして現在も知られているが、Darwin の母親の実家でもある。Charles と Emma はいとこ同士であり、当時はいとこ同士の結婚は、特に上流階級においては珍しくなかった。

- (1) (1) he had been too nervous to say before

選択肢から < too ～ to … > 構文であることはすぐわかる。

- nervous 「緊張して、不安な」

- (3) how little I expressed how much I owe to you

後に「君にふさわしい人間になるよう努力することを誓う」という内容が続くことから、Charles は Emma から多くの恩恵を受けていると考えている。従って、how much I owe to you となる。

- owe A to B 「B から A (恩恵) を受けている、A (成果・恩恵) は B のおかげ

である」

Ex. She said she *owed* her success to her mother.

(彼女は自分の成功は母親のおかげであると言った。)

(2) 「全訳」下線部(2), (5)参照。

(2) there was never anyone so [as] lucky as I have been

or

so [as] good as you (are)

○ never so [as] ~ as ... 「…ほど～は決してない」

cf. not as ~ as ... 「…ほど～はない」

○ good 「(人・行為が) 立派な, 善良な」

(5) ○ cannot help (…ing) 「…を抑えられない; …せずにはいられない」

○ he couldn't help himself = he couldn't stop himself

Ex. "Why are you crying?" "I just *can't help* it."

「なぜ泣いているのですか。」「思わず泣けてきたのです。」

(3) イ: 「全訳」下線部(4)参照。

○ if 節内は her sister was leaving の her sister を強調した強調構文。仮定法過去完了なので, be 動詞が had been になっている。

○ < it is ~ that ... > の強調構文では, 強調される語(句)が「人」の場合は that の代わりに who を使うこともできる。

○ rejoice 「大いに喜ぶ, 嬉しがる」

(4) ア ○ イ × ウ × エ ○

ア ℓ. 13 ~ ℓ. 14 Emma put herself in Elizabeth's place ~, ℓ. 15 She felt guilty から, Emma が姉の Elizabeth に対してすまないと思っていることがわかる。

イ ℓ. 3 ~ ℓ. 4 His openness was something she prized とあるが, Charles の率直さを最も尊敬しているとは言っていない。

ウ 本文にこのような記述はない。

エ ℓ. 19 ~ ℓ. 21 で Charles は手紙の中で, 「2 人が一緒になるまで苦しくつらい」と伝えていることから, 結婚式の延期はしないように Emma に頼んでいる。

全訳

手紙を書いたり訪問することを通して, チャールズは緊張して以前には言えなかったことをエマに伝え始めた。婚約が破棄される恐れはあったものの, それは起こりそうもなかった。エマはすでに恋していたし, あらゆることについてのチャールズの考えを知りたいと思っていた。エマは彼の率直さを高く評価していた。叔母のジェシーには手紙で, 「彼は私が今まで会った中で, 最も率直で気取らない人で, すべての言葉が彼の本心を表しています。特に, お父様やお姉さま, 妹さんには愛情深くとても優しく, 本当に気立ての優しい人なのです」と書いた。

そしてチャールズの方も, 自分が正しい決断をしたことをわかっていた。エマのことを愛していたし, 彼女にもそう伝えた。2 人が婚約した後の水曜日にシュルーズベリー (の家から) エマに次のような手紙を送った。「(2) 私ほど幸運な人間は決していなかったし, また君

ほど立派な人はいなかった。自分がどれほど多くの恩を君に負っているかを、どれほどわずかしかに伝えてなかったんだろうと考えた。そして、そのことを考える度に、少しでも君にふさわしい人間になるよう努めようと誓う。」

チャールズは、エマがメアー邸を離れ、姉のエリザベス一人に病気の両親の看病を任せることで悩んでいるのを知っていた。(エマの父親の) ジョサイアも現在は体調を崩していた。エマはエリザベスの立場に身を置き、(4)もし出て行くのが自分の妹ならば、おそらくは祝福しなかったであろう、と理解したのだった。彼女は申し訳ない思いがして、ウエッジウッド家の全員にとって急な変化が訪れないよう結婚式を少し延期したいと思っていた。

しかし、チャールズは待てず、(5)自分を抑えることができなかった。手紙に自分のサインを書くと、次のように記した。「覚えておいて欲しい。人生はとても短く、2カ月は1年の6分の1だ。私に関する限り、その1年がこれから先万事が始まる最初の年なのだ。」彼は、結婚の時期はエマ次第ではあるが、苦しくてつらい、「2人が一緒になるまでは。最愛のエマへ。さようなら」と彼女に伝えた。

注.....

- ℓ. 2 ○ risk 「危険性, おそれ」 < risky
 - unlikely 「ありそうもない, 起こりそうもない」 ↔ likely
- ℓ. 3 ○ openness 「率直さ, 正直さ」
- ℓ. 6 ○ perfectly 「まったく, すっかり」 = completely
 - sweet tempered = sweet-tempered 「気立ての優しい; 心の優しい」
- ℓ. 10 ○ (as) often as ~ 「～するたびごとに」
- ℓ. 11 ○ somewhat 「いくぶんか, 多少」
 - deserve ~ 「～に値する; ～する価値がある」
- ℓ. 12 ○ tear 「～の心を乱す, ～を悩ます」
- ℓ. 13 ○ care for ~ 「～の面倒を見る, ～の介護をする」 (= look after ~)
- ℓ. 14 ○ one's place 「～の立場, ～の境遇」
- ℓ. 16 ○ ease ~ 「～の勢い (速度) をゆるめる; ～を慎重に動かす」
 - the Wedgwoods 「ウエッジウッド家の人々」
- ℓ. 19 ○ for one's (own) part 「自分に関する限り」 (= as far as one is concerned)
 - things 「状況, 事態」
 - Ex. How are *things* with you? (調子はいかがですか。)
 - shall : shall の原義は「金を借りている」で、そこから「義務を負っている→束縛」へと意味が発達した。束縛を加える要因が神の意志であると考えられる場合、shall は運命的に起こる事柄を表す。
 - Ex. Never the twain *shall* meet. (両者相交わることなし。)
 - hereafter 「今後は, これから先」
 - date from ~ 「～から始まる」
- ℓ. 20 ○ up to ~ 「～ (= 人) 次第で, ～ (= 人) の責任で」
 - Ex. "Shall we go out or stay in?" "It's *up to* you."
 - 「出かけますか。それとも家にいますか。」「あなたが決めてください。」

添削課題

解答

- (1) Quite a few people participated in the meeting.
- (2) Only a few (people) live to be a hundred.
- (3) Hardly had the party started when the police arrived.
- (4) She never opens her mouth without speaking ill of her father.
- (5) He never fails to accept my advice.
- (6) That conclusion by no means follows.
- (7) Nothing is certain but death and taxes.



会員番号	
------	--

氏 名	
-----	--